

令和7年度 こども園評価（園長・主任）

和泊町立国頭こども園

<自己評価一覧>

A：十分あてはまる B：あてはまる C：あてはまらない

I 教育・保育内容

内 容	評価
1 保育の計画 ○ 園の教育・保育理念や教育方針を明文化している。 ○ 園の教育,全体的な計画が自園の保育理念に基づき,保育指針（教育要領）の精神を踏まえて構成されている。 ○ 乳幼児の生活が豊かになるような行事を,乳幼児の実態に合わせて精選している。 ○ 園の教育,保育方針は社会状況や幼児の実態,地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている。 ○ 指導計画の評価を定期的に行い,その結果に基づいて指導計画の見直しを行っている。 ○ 個々の行事について,幼児の発達を考えながら実施し,子供の実態やねらい等について保育者と十分に話し合い見直しを行っている。	B
・ 園の教育方針や保育理念に基づいて,年間保育計画をもとに,月案や週案を立案し,クラスの園児の実態や発達,発育に即して行っている。また,計画は担任に任せるのではなく,主任や園長も確認や見直しをし,評価や反省も適宜になされていると考える。 ・ 来年度の年間計画の見直しを全体で行い,進めていきたい。乳児については生活を中心に丁寧に育んでいけるように今後も配慮していく。 ・ 指導計画については,提出した際,確認し助言等行っている。また,行事に関しては,こども達が楽しく参加できるよう工夫し,職員間で話し合い実施している。	
2 職員体制の充実 ○ 職員が園の教育,保育理念や教育,保育方針を共通理解するための取り組みを行っている。 ○ 指導計画が乳幼児の実態に即したものになっているかを把握し,指導助言できる体制がある。 ○ 個々の乳幼児について職員が話し合う場を定期的かつ,必要に応じてもつことができるような体制がある。 ○ 職員間で互いの保育について話し合い,評価・反省をして次の保育に活かすことができるような体制がある。	B
・ 年間指導計画のもと,担任と検討しながら月案を作成し,取組み後は反省や確認を行い,翌月に活かすように指導している。また,乳幼児の日誌の記録をもとに,発達発育を考慮し,助言したり,療育相談等で適切な支援を受けてもらったりして保育に当たられるようにしている。 ・ 毎月,職員会の中で,園児の処遇につき全職員で情報共有が十分にできている。 ・ 職員体制は,職員が心に余裕をもって保育できるようシフトを組み,また,職員間で協力して,保育できる体制ができていると思う。	
3 保育環境の構成 ○ 乳幼児が安全で心地よく過ごすことができる環境を整えている。 ○ 乳幼児がそれぞれの興味や関心,能力に応じて,全身を使って活動することができる環境を整えている。 ○ 乳幼児を温かく受け入れる環境や個々の関心や能力に応じて,全身を使って活動することができる環境を整えている。 ○ 乳幼児が様々な活動や体験をするのに適切な環境を整えている。 ○ 乳幼児が身近な自然や社会と関わるように配慮している。 ○ 幼児が言葉で伝えたいような体験をもつことができる環境を整え,伝え合う喜びを味わったり,言葉に対する感覚が養われたりするように配慮している。 ○ 乳幼児が生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れられるような環境を工夫している。 ○ 幼児が様々な表現を楽しみ,表現する意欲を十分発揮させることができるような環境を整えている。	B

- 毎月、保育室と園庭の安全管理は、職員が交代で確認をし、危険な所があれば、すぐに修繕を業者に依頼している。芝生の生えている園庭を使用し、自由に伸び伸びと活動している。天気の良い日は、全園児で散歩に出かけているが、今年は回数が少ないので、今後、地域とのかかわりも多く持てるように計画したいと考える。園庭の草花を自由に使える環境作りに努めているが、今後は、園児と一緒に植えたり、育てたりという活動も意欲的に取組みたいと考える。 - 月 1 回、職員が交代で園内外の安全点検を行い、こども達が安全に遊べる環境作りを心掛けている。	
4 研修 - 園内研修などを企画し、研修の内容が日々の保育に活かせるようにしている。 - 職員の資質向上のために、公的な機関などが開催する研修会に参加する機会を確保している。 - 自園のテーマや重点項目等を決め、継続的に研修を行っている。	B
- 毎月、クラスごとに園内研修をしたり、学期に 1 回、町立園の年齢別での研修をしたり、年 1 回は、町立園とすまいるとの共同研修をすることで、職員は学びを深めている。また、県保育連合会の研修会や虐待に関する研修など、リモート研修もあり、情報も得ることができている。毎年、テーマをすまいるを含め町立 3 園で立案し実行し発表し合える場で研鑽を積んでいる。 - 園内研修の日を月 1 回設け、クラス担任が共通理解のもと、クラス運営できていると思う。	

II 地域の子育て支援センターとしての役割

内 容	評価
1 未就園児に対する支援 - 未就園児が園に遊びに来られるよう園庭開放をしている。 - 保護者の子育ての相談を受けたりするなど、地域の子育てのための取組みを行っている。	B
- 町内こども園は、毎日園庭開放しているが、利用者が地域にいないこともあり、本園に来園された親子はいなかった。入園説明会の中で、園庭開放のことや子育ての相談を受けることを今一度お知らせしていきたい。 - 園庭開放を行っているが、来園することはないが、今後も『地域の子育て』の為、園庭開放や誰でも登園など取組んでいきたい。	
2 保育相談機能 - 在園児の保護者からの保育に関する相談を受けている。 - 児童相談所や医療機関・専門機関に相談や連携ができるよう体制が整っている。	B
- 年 1 度の相談日を全保護者と行い、希望者のみの相談日も 1 回行っている。園での様子や家庭での様子の情報共有をしながら、共に子育てをする関係性を作っているところである。 - こども未来課や県福祉事務所、各療育機関、特別支援教育コーディネーターとの連携ができる体制が整っている。 - 関係機関（ぽてと、のびのび、特別支援教育コーディネーター等）との連携を図りながら、こどもに合った保育を行うことができた。また、年 1 回、保護者との面談を行い、悩み等に応えている。	

III 安全管理

内 容	評価
1 外部侵入者・来訪者等に対する安全対策 - こども園の施設・設備を安全で適切な状態にしている。 - 防犯計画に基づき、ハード・ソフト両面から適切な防犯体制を整えている。	B
- 年 1 度、沖永良部警察署の指導のもと、防犯訓練やこども 110 番の駆け込み訓練を行っている。地域で起きた事案等があれば、国頭小と情報を共有し、保護者の方にも協力を依頼している。 - 国頭こども園は、観光地が近いこともあるので、常に全職員で見守りながら保育を行っている。	
2 施設・設備・園児に対する安全対策 - 地震などの自然災害に対する防犯対策が整っている。 - 遊具等の安全管理に努めている。 - 施設及び設備等の衛生管理に努めている。 - 消防職員の立ち入り検査を行っている。 - 消防法第 8 条により防火管理者を定めて防火管理を行っている。 - 消防用設備等を設置し維持している。	B

・地震は年 6 回,津波は年 1 回訓練を行っている。消防立ち合い避難訓練も 2 回あり,園児も毎回,真剣に取り組んでいる。遊具等の安全管理は,毎月,チェックリスト表で確認し,修繕を行っている。 ・消防職員の立ち入り検査を適切に受けて,防火管理者を定めて防火管理を行っている。設備には不備はない。	
3 衛生に対する安全管理 ○ 園児の健康診断を実施している。 ○ 職員の健康診断を実施している。 ○ 伝染病発生に対応することができて・いる。(出席停止) ○ 嘱託医を置いている。	B
・園児の健康診断は年 2 回行って、欠席児は後日,園医で受診をしている。 ・職員は,年 1 回,厚生連健診や人間ドックを受診している。 ・伝染病が流行しないように,手洗いやうがいの励行に努め,家庭にも呼びかけ,マスクの準備等のお願いをしている。 ・嘱託医は,内科は福山医院,歯科は前田歯科クリニック。 ・感染症が出た場合は,コドモンで保護者へ配信し,蔓延防止に協力してもらっている。	